

# 視聴覚教育

# 月報

## NO.16

発行日 35・2・15  
 発行 岡崎市小中学校  
 視聴覚教育協会  
 編集 視聴覚教育協  
 会 調査  
 印刷 岡崎・明大寺  
 登 芳サ一孔版社  
 TEL. 340,2592

# 「視聴覚教育」あれこれ

## 一 「視聴覚教育」というもの

どうも「筋に落ちない」ものの一つに「視聴覚教育」がある。だいたい、視覚や聴覚に訴えない教育等というものは、盲ろう者の教育以外にありそうもない。いな、そういう特殊教育ですら、あるいは視覚をもって聴覚に代用しようとし、あるいは聴覚をもって視覚を補充しようとするものだといってもよい。味覚や触覚や嗅覚をばたらかさないう教育はありえても、視覚や聴覚を予想しない教育など成り立たないではないか。

そうではなくて、「視聴覚教育」というのは、人間の視覚や聴覚を芸術的に充練するための教育であるとするならば、それは、美術教育や音楽教育のことにな

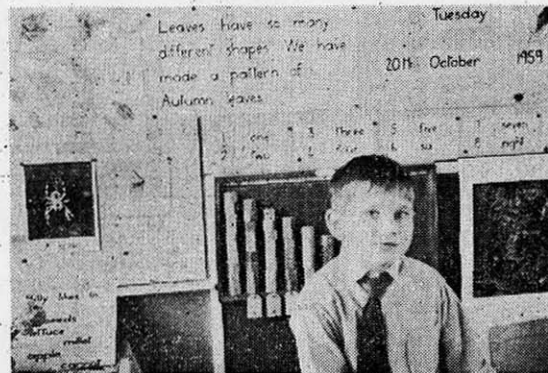
後 藤 金 好

らざるをえまい。あるいはまた、視覚芸術や聴覚芸術のタレントを養成するための教育だといふならば、もう学校教育の領域を越えたものになる。どのように考えてみても「視聴覚教育」と呼ぶのはあかましい。学校教育のなかに、この名称に相当する分野は存在しないのである。映画や幻灯を教材として利用したり、ラジオやテレビを教材として取り入れたりするのには、要するに教材、教員の問題であり、教育方法の問題にすぎない。一つの教育方法を、それがいかに重要であろうとも、「何々教育」と呼ぶことは、当を得たものとはいえないであろう。

エドガー・テールに、Audio-Visual Methods in Teaching. という有名な書籍がある。このタイトルからも察せら

れるように、彼も「Audio-Visual Methods」が「Audio-Visual Aids」ではなくて「Audio-Visual Education」とはいつていない。そして、次のように述べている。

「教師としてはながんずく、聴視覚的方法が学習指導を改善するために考えられた一群の方法であり、しかもきわめて将来性に富むものであることを認めることも、この方法が学習指導の多くの方法の中で僅か一隅を占めるにすぎないことをも十分認識しなければならぬ。」



ところで、欧米の諸国では、学校教育のなかに、この「視聴覚的教育方法」をどのように取りいれているだろうか。イギリスの多くの小学校ではBBCの教育放送を利用して自然研究(理科)をしていた。そのためのテキストが四季ごとに

発行され、それが副教科書なみに扱われていた。アメリカの多くの小学校では、教室ごとにテレビが備えつけてあり、よく学習に利用されていた。教員や教材にことを欠く国ではないので、必要とあれば、こうした視聴覚教材や教材もどしどし学校のなかに持ちこまれる。

けだし、きわめて豊富な意見というべきであろう。わたくしたちは、この「視聴覚的教育方法」というものが、学習指導のなかにあいて占める意義と価値とともに、その位置と限界をも知らなくてはならないのである。

## 二 欧米で見た「視聴覚教育」

アメリカ合衆国が最高率で、ちよつと気のきいたホテルには、部屋ごとに備えてあるのが普通である。科学館などではカラー・テレビの実験放送をしており自分の姿を受像機に映しだしてみる事ができるようになってくるが、珍しがっているのは旅行者くらいのものである。

水車を求めて移り歩く放牧の民のようにテレビを求めて街頭をうろつく子どもたちの群は、日本でもあまり見受けられなくなったが、アメリカあたりでは、テレビはもうありふれた家具の一つに過ぎなくなっている。そして家庭ではテレビの特性を知った上での、正しい効果的な使いかたが子どものために工夫されているのである。ともかく教育放送の本格的な発達と、学校における計画的な利用が、教育に及ぼす影響には見のがすことのできないものがある。

西ドイツでは、科学技術教育が進んでいて、中等学校あたりでは、見る教育よりも作る教育のために、ラジオやテレビが利用されているという方がよいかもしれない。どうして機械を生産がつくっているのである。もっとも、これは視覚教育の範囲外であるから、いまはふれないことにする。

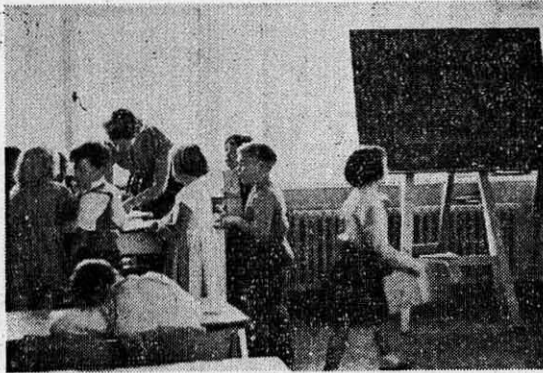
こうした機械の利用とともに、あるいはそれ以上に印象に残ったのは、掲示と板書である。それも、児童生徒の作品をきれいに掲示するといったものではなく、教師の工夫と労作による子どもの学習のための掲示である。それが実に丹念に作られ、掲げられている。板書も授業をしながら、その進行につれて書くことより

も、その日の予定、その日の仕事がないにくわしく書かれているのである。(写真 参照) アメリカの小学校でどの教室も正面と側面と背面の三面の黒板にそれぞれぎっしりとその日の学科の学習の目標と方法と問題とが書かれているのを見た。子どもたちはそれを読んで静かに学習をしているのである。総じて授業の準備と整理の整備はよく行われ、自然に視覚に訴える教育は重視されている。

いかに機械力が発達しようとも、こうしたもつとも素朴なものの持つ教育的意義は失われまいである。うと思われたいのである。

### 三「視聴覚教育」は「行く」

機械や器具は教材や教具にはなりえても、それは教育そのものではない。機械や器具を使いこなすことによつて、肉眼や肉耳だけでは見たり聞いたりできない新しいものをつかみとるところに、教育



的な意義が生ずる。人間の目や耳の代りに、あるいは人間の手や足の代わりに、機器が使われるならば、それは義眼、義耳であり、義手、義足であつて、人間の精神的生長に役立つとは保障できない。ひところ「カメラ万年論」というのが主張された。これは万年筆という道具を使いこなし、人間の思想感情を表現するように、カメラという新しい機械を駆使して、人間の思想感情を新しい角度から表現すべきだ。カメラはたんに物の形を写すものでなく、事を描くものである。思想感情を創造しうるものである。—— というわけである。

後機器というものは、それが便利であればあるほど、その使い方によつては、とうかすると「精神の歯」を弱くすることにしか役立たない。映画然り、テレビまた然りである。これらは「精神の怠惰の一形式」ともなりかねないのである。「視聴覚教育」の研究者としようものは

技術者であるとともに、教育者でなくてはならない。「これらの教具や教材を活用するには、その操作の方法に習熟し、学習指導の技術としての偉力を理解するだけでは十分でない。教師は同時にまた均衡ということを中心得ていなければならぬ」と、エドガー・テールも警告している。あたかも「文字」を使って読み書きをするように、ひとびとが「映像」を使って新しい意味での読み書きをする能力を身につけたとき、カメラは万年筆とともに、あるいは万年筆以上に、思想表現の道具となり、そのときこそ、カメラは教育の上にも真の偉力を發揮するにちがいない。

いかに秀れたものでも、機械はよせよん機械である。それが人間の生得の能力を伸ばすものとして用いられるのでなければ、教具としての意味を失うのである。それが高い効果を持つものと認められた場合でも、教育方法としての均衡を忘れたならば、教育をそこなうものともなりかねないのである。いわゆる「視聴覚教育」は機械力を利用した一つの有力な教育方法であつて、それ以上のものでも、それ以下のものでもない。しかも、それが価値を發揮するには、なお多くの研究と努力を必要とする。(次頁下段へ続く)

▲おまわりさん 二年社会 一巻  
見学によつて学習も出きるが、出かけても話の内容がむづかしかつたり内部がはつきり見学出来ないことが多いからフィルムによるのが理解しやすいだろう。

▲冬を越す動物たち 二任理科 一巻  
身近かな、へびやかえるの冬越しの姿をおもしろくとらえている低学年向きのもの。

▲武士のくらし 三年社会 二巻  
教科書の単元にあるので簡単にとりあつかうも、これを利用してよいと思うが、三年生としてはやや高度であるから、解説を要する。

▲水害対策 四年社会 二巻  
堤防をくずし、鉄橋をのりこえる大水の威力、洪水の去つた後のいさましい姿、洪水は住む家をなくし、人の命を失う。鉄道も、工場も、田畑も荒す。毎年毎年莫大な損害を与える。その対策は、川底を掘つて低くする。堤防を高くする。二重堤防をつくり、川巾を広げる。水源地の山はたに植林し、砂防ダム灌漑用ダムをつくる。放水路の研究もする。

しかし、なかなか計画通りに工事は進まない。私たちもしっかり考えようではないか。

と結んでいる。四年生としてもじっくり考えさせる



# 2月3月の教材映画

教林フィルムである

▲裁判の働き 四年社会 二巻  
▲小売店の仕事 五年社会 二巻  
▲問屋の仕事 五年社会 一巻  
▲荷物市場 五年社会 一巻  
▲テパート 五年社会 二巻

この四つは「商業のはたらき」の単元に利用出来る。理解し易いものである。テパートの内部がのぞけるし趣味ももてる。小売店の仕事の方は劇的に構成されているのでわかりやすい。この四つとも通して利用したい。

▲裁判所と検察庁 六年社会 二巻  
大きく裁判の仕組みを分けること

民事裁判と刑事裁判とに分けられる。そして、その機構はたてにあって最高裁判所—高等裁判所—家庭裁判所、地方裁判所、簡易裁判所となる。

と説明を图示して、裁判所の見学となる。

裁判のしかた  
ここに關係する人々  
裁判官、検察官、証人、被告、弁護人、書記、その他  
被告がこゝへつれてこられて裁判がはじまる。裁判の進行  
証人のいろいろな証言  
それに対する弁護人の弁護  
被告はしばらく聞いてあり、最後に

自分の立場を立証する。これらをおきわめて刑を上進する。その判決のいいわたりは後日裁判長が行う。

実際のとり調べは次席検事が行っている。

検察庁が裁判所に裁判をもつていくまでの取調べをするところである。判決に対して不服があれば、一段上の裁判所へ上訴することも出来る。最後に刑の執行は刑務所に於て行われる。

刑務所では、受刑者に仕事をならわす。保護監察所ではいろいろ精神の補導をしている。

刑の半分を終えに時、真面目な者は仮出獄が許される。こゝして再び社会の一員として生活出来るのである。みんないて明るい国になるよう努力しているのである。劇的に構成され必見のものである。

▲社会保障 六年社会 一巻  
▲鉄のつかいみち 六年理科 二巻  
▲モーターはどうしてまわるか 中学 六年理科 一巻

図解説明  
モーターには二つの電磁石が向いあつていて、……  
磁極のちがひによつて、互に引き合つたり、にげあつたりして回転する

▲ロメント 中学理科 二巻  
▲自動車はこゝして動く 中学理科 二巻

写真、一面フルックフィルム・インフランドスクールの板書  
二面フルックフィルム・インフランドスクールの掲示  
(ともにイギリス、エベックス州)

さまざま条件がととのい、いろいろな問題が解決され、この新しい時代に小ざわしい新しい教育方法が、いよいよ発展し、ますます拡充されることを期待したい。

▲抵抗によつて電流の強さはどうか変わるか 中学理科 二巻  
▲武士のくらし 中学社会 二巻  
▲フラシルの印象 中学社会 二巻  
▲なわとび 高学年体育  
中学体育

ましまりのない解説ですが、最後の学期、大いに利用して学習効果をあげて下さい。

(前頁裏下段より続く) 少くとも、児童生徒の負担において、教材をととのえていくというような運営のしかたは、けつして望ましいこととはいえない。しかも、それが他の目的のために利用されるおそれがないでもないというに至っては論外のことには属する。



この一年間勉強ながら、教材フィルムを利用させていただきこれによって学習を展開してまいりました。その二三の実践記録については前回までにお知らせしているところ批判をいただけてきました。が、今年度最終回の記録をご覧いただき指導下さるようお願いいたします。

五年生 社会科

・小売店とテパート、十時間扱  
自備の私産は毎日の生活になつようなさ  
まさまの品物をいろいろの店から  
買っています。店には、どんな種  
類があるだろうか。日常生活には

どんな店によく出かけるか。  
○テパートの内容としくみは  
○小売店とテパートとの関係について  
使用フィルム  
小売店の仕事 青物市場  
問屋の仕事 テパート

・第一次

私連の家では毎日買物に出かけること  
が多いが、一番よく利用する店はどこ  
な店が調べてみよう。

児童の実態調査

自分の家の誰かが買物に出かけた店  
をのこす記録する。(品物名はい  
らない。)

一月十四日より二十日までの一週間  
調査の結果(多い順に)

- ・八百屋(くだものを含む) 二八名
- ・菓子屋(パンを含む) 二三名
- ・乾物屋 一名
- ・雑貨屋 一名
- 二番目に多かった店
- ・酒屋(味噌、たまり) 文房屋
- ・配給所(うどん) 炭屋・たばこ
- ・喫茶店(コービののみ) 其の
- 他 (各自が一番多いのを筆手に  
よって調査したもの)

# 実践記録

社会科「小売店とテパート」

愛宕小学校 川辺久男

この結果からして、八百屋、菓子屋は  
私連の日常生活に一番身近かなかすこ  
との出来ない店であることが、理解され  
た。

それだけに値段の問題が質問に出てき  
た。他の小売店より安いフードセンタ  
ーなどが話題となり、値段のつけ方を考  
えることにした。

・第二次

映画の上映  
青物市場、小売店の仕事、問屋

話し合い

・生産者と消費者との間には小売店があ  
るが、それ以前に卸屋、問屋、市場な  
どの必要なこともわかった。  
・問屋は生産者と小売店との中間にあっ  
て品物の調整もしているのだ。  
・小売店が安く売るためには、多くの資  
金で一度にたくさん仕入れることによ  
つて安値がつけられるんだ。  
・父と一緒にクレーンの仕入れに出かけ  
た子供が値段に他店とのちがいのある  
のを知ったように、ほくちちも近所の

お店の品物の値段の違いの原因につい  
て調べてみることもしるいたろうと思  
った。

・第三次

テパートについて  
よろず屋の何百倍もあるようなテパー  
トは数多い小売店の集りであり、それ  
は高級な専門店の集りでもある。この  
テパートをわたくしたちは表面的には  
みてよく知っている。しかし、その内  
部的な仕組みと経営については全く無

知である

話し合いの後で映画をみた。  
△上映後の話し合いの結果  
・普通の小売店より多くの品が、よりき  
れいに並べられている。  
・値段はまけてくれないね。  
・品物を家までとどけてくれる仕組みに  
なっていてよい。  
・店員のみんなが朝、仕事の前に集まっ  
て、いろいろやり方を聞いているのが  
よいと思つた。  
・一日に平均四十万円もあるとはおどろ  
いた。

・そのお金を集める集め方も、あんなに  
してやるとは知らなかった。  
・面崎にも大きなテパートが出来るとよ  
いと思う。  
いろいろの話し合いがなされたが、む  
つかしいことはともかくとして、テパー  
トの概略を内面的にも、理解することが  
出来たことは、効果をみとめるところで  
ある。

わたくしたちは、これらの多くの店の  
おかげによって、生活がなりたっている  
のである。商業のはたらきの断面をフィ  
ルムによって学習出来たことを感謝して  
いる。

# チビ・デカ物語を見て

矢作南小学校三年

稲垣 光夫

でかそうは、いつもここにこして気がやさしい。ちびけんは、でかそうをとてて体そうがうまくなるようにきょう力した。

ちびけんもとても気がやさしい。ほかの子は先生のいうことをきかないでいじめていた。中学校の子は、とてもわんぱくがそろって

いる。いつも、ちびけんでかそうをいじめていた。でかそうは、ちびけんのために、一等をとることができた。ちびけんは、ひっこして

わすれなかつた。ちびけんの手紙をよんでしんをもちたでかそうは、なにもかめられるようになった。中学校の子がいじめたが、でかそうはがんばったからともえらい。でかそうは、ほんとうぼうを、のぼれるまでがんばった。ちびけんも、ひっこして行っ

た所でがんばっている。からだ小さいけれど、おもいものをいっしょうけんめいかずいでいるから、でかそうをまかすほどえらい。

矢作南小学校四年

三井 好夫

ぼくは、チビデカ物語のえいがは、テレビと学校で二回見ました。テカがこしてきて新しい学校に入ってきた時に同じ組になったのでチビのとなりにするようになった。初めのうちは、チビとデカもなかが悪かったが、だんだんなかがよくなって、一番なかがよくなった。ぼくの組でも

新しく入ってきた子と一番なかがよくなるのは、となりにするのです。運動会に一等になったのはチビデカがしつかりきょう力し合ったからだと思う。ぼくはここで、みんなでやる事は、どんな事でも、おたがいに力を合せて、チビデカみたいにしなくてはならぬと思つた。ぼくがこのチビデカ物語のえいがを見、一番感じたことはチビがデカに出し



た手紙にかいてあった「どんなことでも、さいごまでやればできるのだ」と、言つた。この女がまとめてあるのが矢作南小学校のきょうそうのある、全世界でも知られている、本多光太郎先生のこうくん。

「つとめてやむな」だ。人間が生きていくには、正しいことならさいごまで、やりとあす力を、死ぬまで守つていかななくてはならないことだと、ぼくは思う。

矢作南小学校

五年 中野 清

ある学校に、転校してきた大山雄三という子は、大へんでぶ

だった。ぼくはその場面で、アツハツハツ……と、大声を出して笑つてしまつた。その雄三には、欠点がたくさんあつた。勇気がない、非常にのんき、雄三が中学校の子にいじめられる所や、相の着に大山デカ三と、はやしたてられる所などかわいそうで、かわいそうであつたらなかつた。

雄三には大のなかつたの友達がいいた。それは、ぼくのように、小さい「チビけん吉」であつた。チビの友情は、りつぱだつた。ぼくは世界中さかしても、チビのように、りつぱな心をもっている人は、いないだろうと思つた。

チカの長所もある。それはがまん強いという事だ。運動会の時でも、チビとがれと二人きょう走して一位になった。これもみなチビのおかげだと思つた。

「チビの家はまずしい、が心はゆたかだつた。チビがひっこしすると聞いたデカは、どんなに悲しんだことだろう。ぼくは、目からなみだが落ちてきた。

ある日、チビからの手紙が来た。それこそ、雄三をはげます友情の手紙だつたので、雄三は、とびあがつてよろこんだ。

ぼくは、友達と協力することは、つとめてやむなの大事なことだと思つた。チビとぼくと、比べると心の成長の点では、すごい差だ。

ぼくもチビのように、友達と協力できる人間になりたい。それには、毎日コツコツとやつていく人がりつぱな人間なんだと思つた。



